

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：医務費

事業名【新】岐阜県重点医師偏在対策支援区域における診療所の 承継・開業支援事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療福祉連携推進課 医療人材確保係 電話番号：058-272-1111(内3278)

E-mail：c11230@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 24,754 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	24,754	16,502	0	0	0	0	0	0	8,252
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

今後も一定の定住人口が見込まれるものの、必要な医師を確保できず、人口減少よりも医療機関の減少のスピードの方が早い地域は、「保険あってサービスなし」という事態に陥る可能性がある。こうした地域を県において重点的に医師偏在対策を行うべき区域に指定し、区域内での診療所の承継・開業を支援することで、地域の必要な医療機能を維持・確保していく必要がある。

(2) 事業内容

県で地域医療対策協議会及び保険者協議会での協議を踏まえて指定した「重点医師偏在対策支援区域(以下「重点区域」)内で診療所を承継又は開業する場合、当該診療所に対し、承継・開業のための①診療部門の施設整備事業、②医療機器の設備整備事業、③地域への定着支援事業に対し、補助を行う。

なお、補助対象となる診療所は、県の地域医療対策協議会及び保険者協議会で支援対象とすることに合意を得る必要がある。

(3) 県負担・補助率の考え方

国庫補助金（①：医療施設等施設整備費補助金、②医療施設等設備整備費補助金、③医療施設運営費等補助金）を活用

※補助率①② 1／2（国1／3、県1／6）
③ 2／3（国4／9、県2／9）

(4) 類似事業の有無

同様の国庫補助を活用したへき地診療所施設整備事業費補助金、へき地診療所設備整備事業費補助金がある。補助対象はへき地診療所であり、本事業とは対象・補助率が異なる。

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	24,754	診療所の承継・開業に対する補助金
合計	24,754	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県長期構想
第8期岐阜県保健医療計画

(2) 国・他県の状況

重点医師偏在対策支援区域における診療所の承継・開業支援事業に対する補助については40都道府県で実施が予定されている。

(3) 後年度の財政負担

重点区域での医療提供体制の維持・確保の為、引き続き、支援していく必要がある。

(4) 事業主体及びその妥当性

県で地域医療対策協議会及び保険者協議会で、地域医療提供体制の確保といった観点で重点区域及び支援対象の診療所を協議し決定するため、県が補助を行うことは妥当である。

事業評価調書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

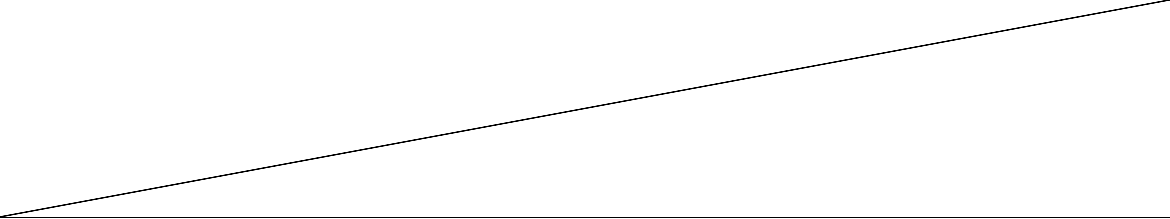
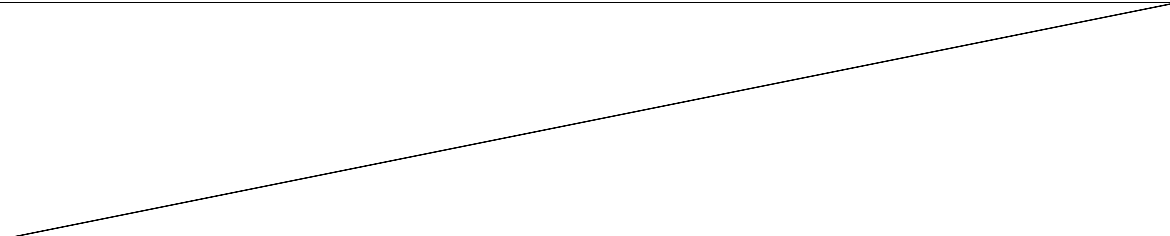
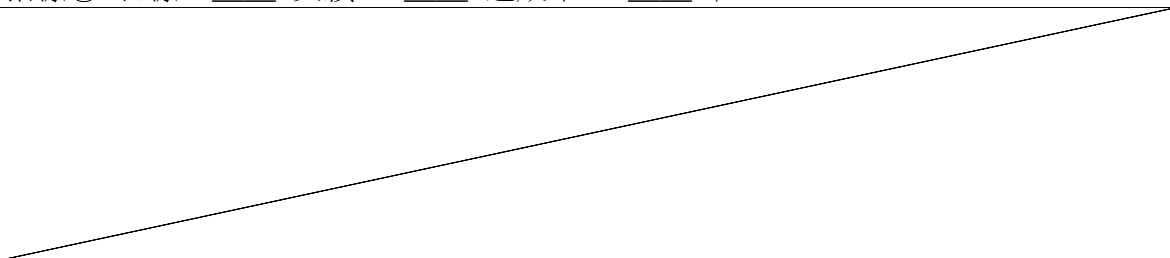
重点区域での診療所の承継・開業を誘導し、区域内医師の増加を図ることで、地域の医師不足を抑制し、県内の医師偏在是正を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R11)	達成率
①人口10万人対 医療施設従事医 師数	173.0人 (H18)	231.5人 (R4)	245人	249.5人	249.5人	92.8%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 4 年度	 <p>指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %</p>
令和 5 年度	 <p>指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %</p>
令和 6 年度	 <p>指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない

(評価)
3

人口減少よりも医療機関の減少のスピードの方が早い地域においては、今後の高齢化率の上昇に伴う医療需要の増加も相まって、医療機関の承継・開業に対する支援の必要性は今後さらに増加していく見込み。

・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3 : 期待以上の成果あり
2 : 期待どおりの成果あり
1 : 期待どおりの成果が得られていない
0 : ほとんど成果が得られていない

(評価)

・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている

(評価)

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方角性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか